

「高安山・信貴山ハイキング」記録 2018年4月19日 山下

- 1 : 日 時 平成 30 年 4 月 19 日 (木) 晴れ
2 : 集合所 近鉄服部川駅 9:30
3 : 参加者 乾・叶・上条・児玉・小松・西井・秦・原・藤井・前野・万井・杵三・元田・山田・倭・山本・吉本・山下 18名(乾・山本の2名はリーダー前で合流)

9 : 3 0 近鉄服部川駅を出発する。

9 : 5 0 不動院に到着、休憩後登山道へ入る。登山道脇には多くのウラシマソウ、クサイチゴの花等が見られ、心を癒してくれる。



ウラシマソウ



クサイチゴ?

ウラシマソウはサトイモ科テンナンショウ属に属し、肉穂花序の先端が釣り糸のように長く伸び、浦島太郎が持っている釣り竿の釣り糸に見立てたとの説がある

- 11 : 3 0 高安山気象レーダー前でケーブル組2人と合流する。
11 : 4 5 高安城(タカヤスノキ)倉庫址で昼食をとる。
12 : 2 5 高安城倉庫址を出発、信貴山へ向かう。途中に弁財天滝を見る。
13 : 1 5 信貴山朝護孫子寺に到着する。大きなトラに迎えられ、出発の時間まで自由に過ごす。本堂にお参りし戒壇巡りをする。真っ暗闇の中、手探りで進み出口の光にホッとす。
14 : 0 0 信貴山を出発、ケーブル跡ハイキング道を歩く。
14 : 5 0 信貴山下駅に到着、解散する。

穏やかな春晴れの日、杵三リーダーに道案内をしてもらう。

ハイキング組とケーブル組に分かれてのコースであったが、ケーブル組は当日の朝に変更があり、結局、ケーブルに乗ったのは案内人の2名のみ、無事に気象レーダー前で合流することができ一安心。

高安山、信貴山とも大きな八重桜が咲き誇り、私たちの目と心を癒してくれた。新緑のモミジもみごとであり、秋には最高の紅葉を約束してくれているようだ。